

9-10月総決起・総行動、才3波スト軸に全国総反撃へ

動労千葉 定期大会
才11回

戦陣体制満場一致確認して閉幕

日刊
動労千葉

86. 9. 2

No. 2340

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六・（公衆）〇四七二二（七）七二〇七

分割・民営化絶対反対の旗を高く掲げ、
昨年大会決定方針を堅持発展させ、
闘争のあつまる力総結集して反撃へ

大会速報(2)

九月一十月で国鉄労働者のすべてが決まってしまうような情勢下、事態は昨年大会時以上に闘いをわれわれに要求している。「六一・一ダイ改」阻止へ、今秋決戦突入！勝利にむけた闘う方針と体制をうち固めて、動労千葉第十一回定期大会は、九月一日十六時をもって大成功のうちに幕を閉じた。

質疑応答

二波のストー一年間の激闘・前進に
ふまえた熱心な討論
一両日で計十九名より発言

大会第二日目の議事は一日の九時に再開され、前日の質疑応答からひき続き、十七名の代議員からこの一年間の二波のストをはじめとした熾烈な闘いを展開してきた立場から次の意見・質問が出された。

◎物販活動の先頭で頑張ってきた。全国で「動労千葉」への期待がとて大きいことを肌で感じてきた。そこで得た教訓は「一人ひとりが活動家となって」であり、もともと地域・民間と手を携える取り組みが重要ではないか。（津田沼）

◎今、誰もが不安や動揺をかかえている。しかし、仲間を裏切ることだけはできないし、この事態を切り拓くのは闘いしかない。（新小岩）

◎上映オルグで全国さまざまな職場を訪ねて、切り離された労働者一人ひとりには弱い。だからこそ団結して闘う以外にないということに確信をもった。
身近な国労組合員に訴えていきたい。（千葉転）

◎成田地区上映会は二百名をこす結集で大成功した。地域の労働組合と名のつくところは連日全部回り、自分達の闘いを目の色をかえて話した。（成田）

◎「列車無線」「兼掌化」について本部の考え方を明確にしてもらいたい。（乗務員分科）

◎闘いは未だ半ば。中曽根・杉浦の攻撃は「万全」ではない。「このまま黙ってれば……」とか「

ストは処分だけ残った……」との声もある。しかし、そうだろうか。闘ったから現在があり、職場に国労の仲間との共闘もできあがった。闘いの成果だと思ふ。（津田沼）

◎何んのために「本部」から分離・独立し、何んのために二波のストに決起したのかを、いま一度思い起す必要があるのではないか。今大会後、何をなすべきか一二月間を全力で闘おう。（勝浦）

◎「人材活用センター」問題についての本部の考え方・方針を明らかにしてほしい。（館山）

◎動労革マルの原則を踏みはずした裏切りの連続を見るにつけ、七年前、動労「本部」から分離・独立したことは、まさに正しかった。分割・民営化絶対阻止へ第三波の闘いをかちとろう。（幕張）



今秋決戦をき然と牽引しぬく方針・体制の確立めざして閉幕。
（8月31日、九十九里センター）